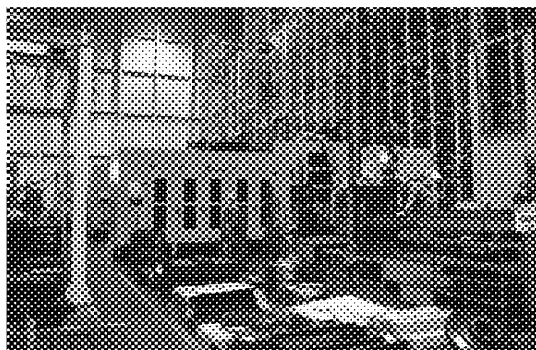


# 宇宙航空分野を強化

## ニイガタ マシンテック ノ 品質管理規格を取得

【新潟】ニイガタマシンテック（新潟市東区、田村幸夫社長）は航空宇宙向けの事業を強化する。同分野での賃加工の受注を増やし、主力の工作機械や射出成形機の販売拡大につなげるのが狙い。このため、航空宇宙産業界の品質管理システム規格「ASS100D」の認証を取得した。同社の年間売上高は100億円規模だが、航空機市場の回復などをにらんで装置販売も強化し、同120億円を目指す。

ニイガタマシンテックは北米で主流の規格であるASS100Dは2017年から技術力を向上する取り組みの一環として、航空機部品の賃加工を一部手がけてきた。同分野への本格参入を目指す。航空機部品の賃加工付加価値化のため、新



ニイガタマシンテック（新潟市東区）の工場。写真：同社提供

では、同社製大型マシンングセンター（M）を中心に、1600ミリ角ものパレットを持つ搬送システム、大型

▲

認証取得したマシンングセンター（M）などが並ぶ本社工場の一角

研磨機といった本社工場（新潟市東区）の既存設備を活用する。取り扱う部品加工の幅を広げ、技術者の能力を向上する。

今の生産能力以上に高まれば、発注元に対して自社の工作機械の販売を強化する。賃加工で従来から手がけている治具やポンプ部品などの加工は続ける。新規案件は同社サイトで受け付ける。